

第 11 回 十勝川中流部川づくり報告会【議事録概要】

【開催要旨】

開催日時：平成 29 年 10 月 21 日（土） 12：30～13：40

開催場所：十勝川インフォメーションセンター 2F

出席者数：33 名

【議事要旨】

報告テーマ	報告内容等
開会挨拶	十勝川中流部市民協働会議事務局長：藤堂より、開催にあたっての挨拶
平成 29 年度 活動経過報告	事務局：橋本より、平成 29 年度（4-10 月）当事務局の活動を報告
帯広農業高校による 相生中島地区湿地活動について	相生中島上流湿地での魚類調査について 農業高校生の感想
帯広工業高校による 流木の腐食調査報告	札内川で行っている流木の腐食に関する調査報告
被災からの復旧と再度災害防止に向けて	帯広河川事務所計画課：永木係長より、平成 29 年度の十勝川中流部川づくりに関連した工事の概要を説明
今後の活動予定	事務局：紅葉より 1. 高校との連携 2. 市民環境交流会 3. 第 12 回十勝川中流部川づくり報告会
閉会挨拶・その他	帯広河川事務所：北口副所長より閉会挨拶

【報告概要】

発表者	発表 テーマ	要 旨
<p>十勝川中流部市民協働会議 事務局 橋本</p>	<p>平成 29 年度 活動 報告</p>	<p>今年度の4月～10月に行った主な活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) H29.5.16 帯広工業高校1年生を対象にした札内川自然再生事業の事前学習。 2) H29.6.7 帯広工業高校2年生による帯広川被災箇所への整地及び播種作業。 3) H29.6.12 帯広工業高校3年生に、域防災活動として講師を招き防災授業。 昨年の出水を踏まえ、防災に対する備えについて主に説明。 4) H29.6.27 札内川懇談会自然再生モニタリングの帯広工業高校1年生の測定のサポート。 5) H29.7.7 『たなばタイム』水辺で乾杯イベントに参加 6) H29.7.22 帯広農業高校による夏季魚類調査のサポート。 魚類調査と同時にヤナギの抑制のための植物調査も実施。 7) H29.8.6 伝馬船レース大会 in 帯広の参加及びサポート。 8) H29.8.19 帯広工業高校の流木の腐朽速度に関する基礎調査のサポート。 9) H29.8.30 町内会防災訓練サポートとして西21新興町内会の防災訓練をサポート。 10) H29.9.4 帯広工業高校3年生に、防災授業として、途別川の流速調査と横断測量、そこから求められる流量の算出をしてもらう。 11) H29.9.9～10 「第10回いい川・いい川づくりワークショップ in 九州」に参加。準グランプリを受賞。 12) H29.9.16 帯広工業高校3年生と流木調査（硬度試験と含水率の測定）2回目を実施。1か月ではあまり変化はなし。 13) H29.9.21 帯広工業高校3年生と6月7日に帯広川被災箇所へ播種したクサヨシがどれくらい発芽しているかを把握するためのモニタリング調査を実施。 14) H29.9.26 札内川懇談会自然再生モニタリングの帯広工業高校1年生の測定のサポート(2回目)。

発表者	発表 テーマ	要 旨
帯広農業高校 高山先生	相生中島地区 湿地活動報告	<p><高山先生から、今までの総括></p> <p>今日は2年生が1名と1年生が6名参加しています。活動の報告は、いつも生徒だが今日は準備していないので私の方からさせていただきます。</p> <p>1年生は初めて参加した生徒もいるので、その感想なんかも聞きたいなと思っています。1年生はこの会が何なのか、判らないと思います。本当は学校でしてくるべきだったのですが、話しますと、これは十勝川中流域の治水上の安全を確立しながらより良い川づくりをしていこうということ、それに対して地域の大人の方、それから高校生も勉強しながら川づくりに参加して行こうということで集まっている団体です。</p> <p>その今年の活動を報告する会に参加しています。</p> <p>我々平成24年から参加させていただいて、今年で5年目になります。今日こうやって地域の人が参加している活動ということを知って、これから1年2年3年と活動をして行って欲しいな、と思います。</p> <p>今日も調査に行ってきましたが、相生中島地区の造成された湿地で生物がどう変化していくかを調査するというので、平成25年から生物調査を始めてデータを取っています。</p> <p>昨年、河川基金の助成を受け、今年7月に、今日参加していませんが、2年生の大和田君と一緒に東京大学で発表を行なっていて、その時のポスターにこれまでの活動をまとめていますので、後ほどお時間あればご覧いただければと思います。</p> <p>湿地については昨年の台風で大きく環境が変わり、今までの調査の結果がリセットされた形になるのですけれど、去年の台風後の11月に調査を行い、今年7月、今日と調査を行い、台風後の3回目の調査となります。</p> <p>調査内容は魚類の全量調査ということで、どういった生物がいるかということで、実際に調査をしているのですが、台風前後の変化で言うと、今までイトヨだとかが多かった部分に前回・今回とジュズカケハゼが増えている。それから、カワヤツメが今までの調査だと1匹か2匹採れるくらいだったのですけれども、今日も前回もすごくたくさん採れています。やはり砂が堆積した後の環境の変化で生物相の種類も変わってくるのかなという印象を受けました。</p> <p>結果は今回のものも含めてきちんとまとめて3月の報告会で生徒に発表してもらいたいなと思っています。今日はちょっと印象だけ述べさせていただきます。</p> <p>去年の台風前から参加している山岸さんと、今日初めて参加している石原さんから一言感想をいただければと思います。</p> <p><生徒 山岸くん：台風前後の湿地の印象></p> <p>台風前後で湿地の環境は変わってしまっていた。台風力はすごい。ひどい姿になってしまった湿地を見て、自然の力はすごいなと感じた。</p> <p>今日の感想は、台風をうけても魚類たちはちゃんと生き続けてくれている、環境が変わっても生き続けてくれているということは大変嬉しいことだなと思いました。</p> <p><石原さん></p> <p>正直最初、ボランティアで参加する時はどういう内容なのかよくわかっていなかったが、報告会、湿地調査を経て学べたこともたくさんあったので学校などで活かしていきたいと思えます。</p> <p>(質問：高山先生から～魚捕まえてみてどうでしたか?)</p> <p>魚がいるとは正直全然思っていませんでした。</p>

発表者	発表 テーマ	要 旨
帯広工業高校 環境土木科 3 年生 藤島君と曾我部さん	流木の腐朽調査	<p><生徒：藤島君> 私たちは、流木を腐食させ、その場で土に戻すということを目的に研究を行っています。</p> <p>この研究のきっかけは、今年の台風 10 号によって発生した流木が漁業の網にひっかかるなどして多大な損害を出しているということから始まりました。 堆積された流木の有効な処理方法が見つかっておらず、現在行っているものはコストがかかるので、私たちは流木を腐食させその場で土に戻すという処理方法の調査をしているところです。</p> <p><生徒：曾我部さん> 調査は、札内川左岸光南地区水辺の楽校で行われています。調査内容は、流木と生木の 2 種類を用意し、それぞれの周長と小口の直径、硬度と含水値の調査を行っています。 こちらが硬度を計測する器械と水分チェッカーになります。この調査は A 地点から D 地点までの 4 か所それぞれの環境別に腐食がどのように変化するかという調査を行っています。</p> <p>A 地点は土に半埋設、B 地点は堆積している流木の上、C 地点は砂利の上、D 地点は流木や細かい枝などが堆積した上に試材を配置しています。どの環境で腐食が進むかが調査によりわかればいいなと思っています。</p> <p><生徒：藤島君> これが 8 月 17 日に調査した 1 回目と、9 月 15 日に調査した 2 回目の記録です。現在、数カ月しか試験を行っていないので目立った変化は見られません。これからも継続して研究を続けて行き、後輩にも引き継いでいきたいと思っています。 以上です。ありがとうございました。</p> <p><事務局室瀬氏～追加報告> こちらは高校生の調査と別に、電気電導度と Ph も腐食の指標となるということなので、合わせて調べているが、明確な傾向はつかめていない。来月再来月の調査の結果も皆さんにご報告したいと思っています。</p>

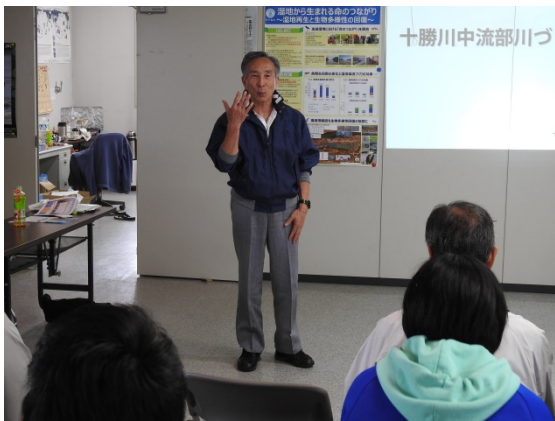
発表者	発表 テーマ	要 旨
<p>帯広河川事務所 永木計画係長</p>	<p>被災からの復旧と再度災害防止に向けて</p>	<p>1) 平成 28 年 8 月出水 被災の概要 (堤防決壊) 札内川 2 箇所 音更川 1 箇所 (その他被災状況) 天然河岸洗掘 10 箇所 既設護岸被災 58 箇所</p> <p>2) 被災からの復旧 (災害復旧工事) 今、中流部の工事は 2 か所、北帯広築堤及び相川築堤 いずれもブロックの復旧工事</p> <p>3) 再度災害防止 (河川災害復旧等関連緊急事業～復緊急事業～) これからは災害復旧工事だけでなく、再度災害防止のための工事も行っています。 大きく分けて 3 つのステップがあると覚えていただければいいと思いますが、まずブ ックが「壊れました → 直しましょう」という“災害復旧”、 次に、ブロックが壊れた箇所で川が蛇行していて、また次の大雨でブロックが持って行 かれてしまう可能性のあるところに対して行う“災害関連事業”、直接ブロックの壊れたよ うな箇所の近くで行う事業です。 もう一つがこれからやっていく「河川災害復旧等関連緊急事業 (復緊急事業)」でして、ピ ンポイントの被災箇所だけでなく、もっと広い、例えば十勝川なら十勝川流域全体で災 害が起きないようにやっていくというものです。 今年は十勝川の猿別川合流点上流の河道掘削工事を実施しています。 こういった事業を平成 30 年度にかけてまでやっていきます。</p> <p>以上です。</p>

発表者	発表 テーマ	要 旨
中流部市民協働会議 事務局 紅葉	今後の活動予定	<p>3月までの活動予定として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高校との連携 2) 市民環境交流会 3) 第12回十勝川中流部川づくり報告会 を考えています。 <p>1) 高校との連携</p> <p>①工業高校との連携 1 札内川礫河原再生モニタリング 11月7日に札内川懇談会のサポートとして、6月27日と9月26日に行った 測量結果、植物調査結果を基に学内で授業を予定。</p> <p>②工業高校との連携 2 防災教育 11月13日に6月12日と9月4日に行った防災に関する講習及び実技で学んだことを 基に座学を行う予定。</p> <p>③工業高校との連携 3 タンチョウ給餌場設置の草地復元 11月16日にタンチョウの給餌場を相川原生花園と十勝川温泉周辺へ設置を予定。</p> <p>2) 市民環境交流会 11月18日に、とかちプラザにて行われる環境交流会にて、藤堂さんが「いい川・いい 川づくりワークショップ」で発表した内容を展示する予定です。</p> <p>3) 第12回十勝川中流部川づくり報告会 3月17日に、とかちプラザで今年度の最後の報告会をする予定です。</p> <p>今日これから、14時から16時まで水辺の学校で植樹会がありますので、皆さん参加し ただければと思います。 また今日はいっていませんでしたが農業高校さんとも今日発表にあったように、これか らも協力していく予定です。どうぞよろしくお願いします。</p>

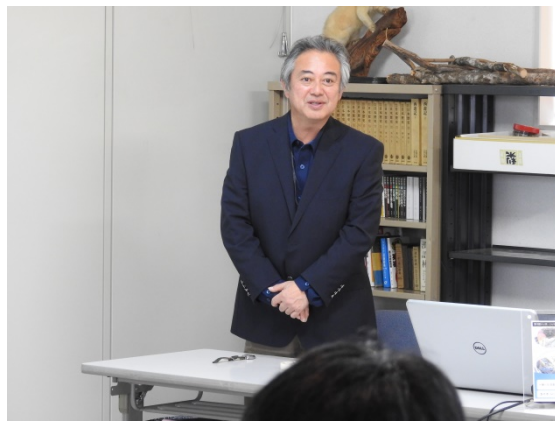
○閉会挨拶

発言者	発表 テーマ	説明者	要 旨
—	閉会 挨拶	帯広河川事務所 副所長	<p>本日大変お疲れ様でした。 相生中島地区の現地作業と今ありました川づくりの報告会などの貴重 な報告をしていただきました。 十中協さまにおかれましては、さまざまなことを通じて川を知って いただくきっかけづくりという貴重な役割を果たしていただいている ことに感謝を申し上げます。ありがとうございます。 高校生のみなさんにおかれましては、今日発表をしていただいた活 動を通じて、若い方々に川を知っていただいで勉強していただければ 大変貴重なことと思いましたので、これからも続けて行って欲しいと 思います。 私共も活動に少しでも協力していきたいと思っておりますので、こ れからも継続して調査をお願いします。 本日は大変ご苦労様でした。</p>

○写真帳



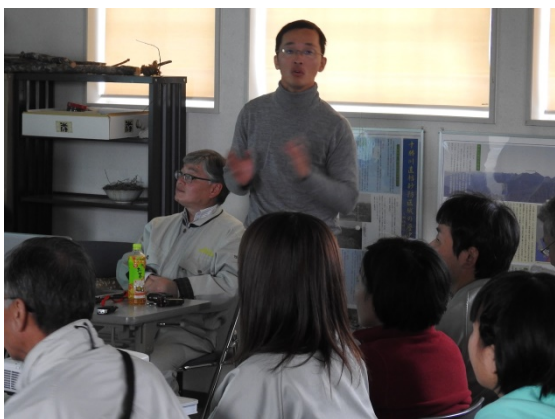
開会挨拶（藤堂事務局長）



議事進行（室瀬事務局員）



活動報告（橋本事務局員）



帯広農業高校__活動報告（高山先生）



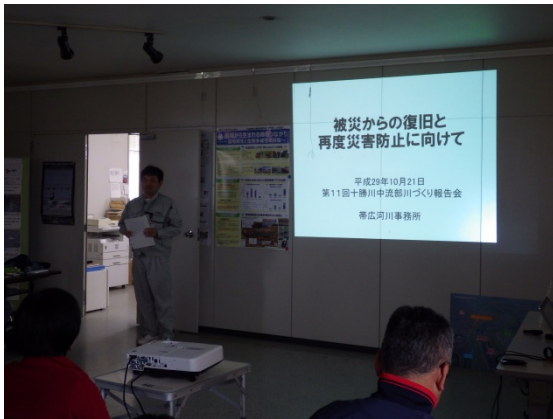
活動についての感想（山岸、石原）



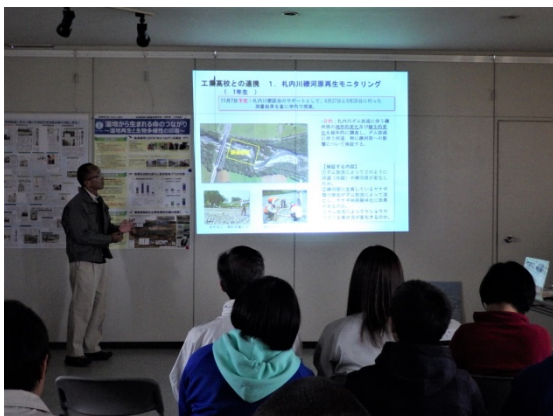
帯広工業高校__活動報告（藤島、曾我部）



○写真帳



工事経過及び今後の計画（帯広河川事務所 永木計画係長）



今後の活動（紅葉事務局員）



閉会挨拶（帯広河川事務所 北口副所長）



報告会__開催風景